

(認定)宝塚NPOセンター  
平成 26年度事業報告書



## ご挨拶

宝塚 NPO センターは事業規模が徐々に拡大してきました。宝塚市立勤労市民センターの指定管理事業の受託や宝塚市総合計画策定の事務局サポート事業など市民活動支援の非営利中間支援の組織として認められたことを喜ぶとともに、公共の一端を担う責任ある団体として新たな自覚を求められると認識しています。スタッフも増え、予算規模も大きくなってきましたが、本来の中間支援組織として『市民活動の交差点』たるべきことを忘れないで進んでいきたいと望んでいます。

宝塚 NPO センターは、NPO につながる会員の皆さんと市民社会づくりに関わる喜びと感動を分かちあう組織であることを目指しています。また、市民活動の支援を通じて社会に参加しにくい人々、社会に貢献したいと願う人々を包み込む、懐の深い市民社会の実現を願っています。市民参加と公民協働のミッションこそ宝塚 NPO センターが掲げ続けたいテーマもあります。老いも若きも性別も国籍も越える市民の参加を求めて、更に障がいのあるなしに関わらず市民として誰もが社会の一員として参加できる地域社会の実現こそ宝塚 NPO センターが追い求めている願いです。今年度から着手する生活困窮者自立支援事業も社会的に排除されがちな、あるいは社会的に孤立しやすい人たちを地域社会につなぎ直す意義のある仕事だと考えております。

市民活動を志す多くの皆さんのが頼ることのできる宝塚 NPO センターに成長する道半ばですが、会員の皆さんともども役職員は『市民活動の交差点』を目指していきたいと思います。市民の皆さんのがかたちになること、皆さんの願いに少しでも近づけるよう一緒に集い、語らい、励ましあう場の実現こそが私たちの願いです。そのためにはボランティアとして、地域住民として、勤労市民として地域社会につながる社会参加のチャンスを創り出すこと、市民がお互いに協働しあうスペース、支えあう居場所を産み出していくことに役職員ともども力を注いでいきたいと決意しております。

理事長 牧里 每治



／  
みなさんに頼られる  
宝塚 NPO センターを目指しています

牧里 每治  
(理事長)



# 市民のための施設の ツクリカタ

## 指定管理事業を受託しました

私たちは平成26～28年度の3年間、宝塚市立勤労市民センターの指定管理事業を受託しました。指定管理とは公共施設を民間企業のノウハウで運営、管理することで利用者へのサービスを向上させつつ、地方公共団体の経費を削減できる一石二鳥の制度です。他市では、市民センターに限りらず公民館、美術館、博物館などの施設もこの制度で運営し、まちの活性化に大きく寄与しています。しかし、実際は行政からの天下り先であったり、民間企業が利益追求のために受託しているケースも少なくありません。せっかくのよい制度になぜそのようなことが起こるのでしょうか。それは、行政も市民も公共施設という『場』が持つチカラを使いきれていない、気づいていないからではないでしょうか。

## 市民目線を大切にしたい

皆さんのイメージする公共施設とはどのようなものでしょうか。「行政が税金の無駄遣いでつくったハコモノ」『料金は安いけれど利用するのに書類をたくさん書かされる』『職員のアナログな作業が多く利便性が悪い』『シニアだけで運営していくと融通がきかない』などマイナスのイメージが多くあると思います。それらは実際当たっていることもあります。しかし、じつじつた問題点は簡単に変えられるものとそうでないもの、また、変えられるタイミングがあります。受託が決まってから運営、管理が始まるまでの準備期間に、私たちはスタッフ全員で話しあい、変更すべき事項の優先順位を決めて実行していきました。中でも一番効果



自主事業 防災体験プログラム  
『危ない!みんなで力エルさんを救い出せ』



自主事業 Let's 子どものためのざぶとん体操  
『ざぶとん忍者でござる』

を上げたのは『駐車場24時間化』でした。それまでの開場時間は8時30分～22時までで、朝も夜もスタッフがゲートの開閉を行い、年末年始や休館日もそれだけのために人員が必要でした。しかし、民間では2時間駐車場は一般的でシステムはオートメーションですので変更してもデメリットは無いのです。実際この1年間トラブルもなく、大きな成果を上げられました。（15ページ参照）協働で動いていたいた宝塚市商工労課には大変感謝しております。費用対効果が大きい事項を習慣で続けてしまうことも公共施設の特徴であり【場】が持つチカラを使ひきれない一例ではないでしょうか。残りの指定管理期間も市民目線を大切に、宝塚NPOセンターらしい管理を目指したいと思いまます。

### 指定管理からはじまるまちづくり

多くの条例や規約を守りながら安全・安心に運営、管理することは、私たちにとってスタートラインでした。ワクワクするような自主企画、気軽に对话できるような利用者との関係づくり、ボランティアさんの参画など、初めて公共施設という『場』を任せられた私たちはやりたいことだけでした。例えば「Fロビーにボランティアさんだけで運営するカフェ『10色珈琲』、市民のためのマイクロライブラリー『つばめ文庫』などを「つばめセブン、ネーミングにもこだわっ

てつくりました。両企画とも今でも続いているだけでなく『100色珈琲』は今年度、宝塚市立スポーツセンターに2号店を出店する程盛り上がっています。自主事業も子ども向けを中心にして新しく新しいという発想で多くの企画をしました。指定管理の仕様書にないことを一丸になって取り組めたのは、スタッフの情熱もありますが、それに協力してくれたボランティアさんのチカラが大きく、感謝の気持ちでいっぱいです。無給にもかかわらず、毎日、毎週来ていただけるだけでなく、重労働まで率先してくださる方もいらっしゃいました。

ボランティアをする理由は、生きがいのため、健康のためなど人それぞれです。理解する人も批判する人もいますが、本年度事業を支えてくれたボランティアさんの後ろ姿から私たちは多くを学び、いつかは社会にお返しがしたいと思いました。この善意の連鎖は、人と人とのつながり、輪の広がりといふのかかもしれません。そしてその循環が社会をよくするのかも知れません。しかし、より広い範囲の持続可能な社会やコミュニティをつくることは非常に難しく、まだまだ努力が必要です。公共の『場』を非営利の『NPO』が運営・管理することに安心と自由が担保されつながりが生まれています。『NPO流指定管理』からはじまるまちづくりがあるのかもしれません。



市民のためのマイクロライブラリー  
『つばめ文庫』



ボランティアさんだけで運営するカフェ  
『100色珈琲』



市民パワーはまちを変える

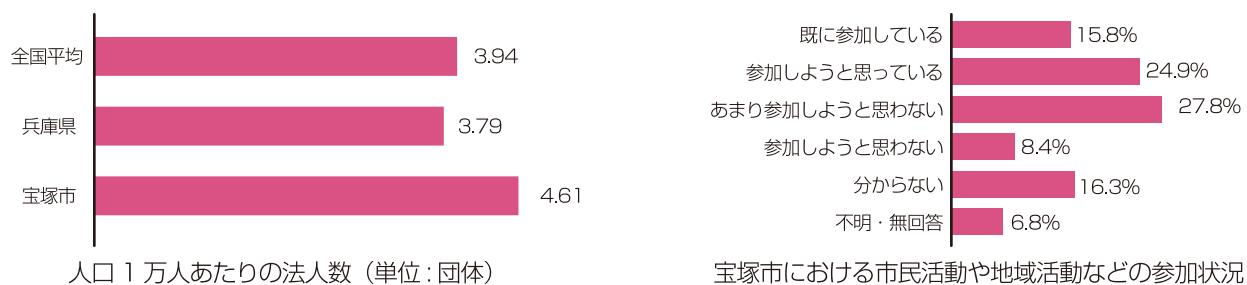
場のツクリカタ講座

# 協 働 の 場 づ く り

## - 宝塚市市民活動促進支援事業 -

### 市民活動に参加意向のある人 40.7% (宝塚市市民アンケートより)

宝塚市内にある NPO 法人は 105 団体で人口比率で見ると全国トップクラスです。更に、まちづくり協議会は市内全域に 20 団体も設置されています。これは、市民によるまちづくりへの意識の高さを表しています。しかし、市内での市民活動は、担い手の確保や育成など多くの困難も抱えています。活動者自身の高齢化に伴って、事業維持や基盤確立に課題が生じています。一方で、非営利団体の活動に関心を持つ若者は、決して少なくありません。また、シニアの方々が持つ豊富な知識や経験も、様々な市民活動に生かすことができます。ところが、地域の人々の多くは地域活動に興味を持っているものの、その入り口や加わるきっかけがつかめない状況にあるようです。本事業は、市内で活動する団体の NPO 法人化や運営相談、コミュニティビジネス (CB) 起業支援などを行い、より活発な市民活動の推進を行ってきました。講座を通じた啓発活動や交流会なども行っています。また、今後は地域に眠る人材を発掘するためにも、市民活動への『きっかけづくり』が重要になると考えています。地域の抱えた課題を知り、社会参加の扉をすべての世代に開くことで、活発なまちづくりを目指します。



### 地域で芽吹くコミュニティビジネス

**39** 回  
講座  
開催回数

本年度宝塚市には新たに 7 法人が生まれました。うち 1 法人は、4 年前の中山台コミュニティからの相談に端を発するもの。福祉活動を実践していたメンバーが NPO 法人生活支援の会あいかつを設立し、コミュニティビジネスの手法で地域課題への取り組みを開始しました。また、市内の認定 NPO 法人は 2 団体、仮認定 NPO 法人は 1 団体となりました。更に、認定所得を目指す 2 法人に対しても、県内の市民活動を支援しているひょうごコミュニティ財団を紹介し、活動資金の確保を推進しました。本年度は 39 回の講座や交流会を設け、合計で 280 人の方々が参加しました。学童保育待機児童支援を行う NPO 法人シェアフィールドが、ネットワーク会議や井戸端会議への参加によって、宝小コミュニティやボランティアとのつながりを深め、事業規模を拡大。また、各講座参加をきっかけとして、障がいの有無に関わらず利用できるバリアフリーカフェ『いのちの木』が小林にオープンしました。様々な講座やニュースレター作成を通じた出会いから、宝塚市にはまだまだ可能性が眠っていることを実感できる 1 年でした。出会いと気づきから始まる協働のまちづくりに向けて今後も着実な事業を進めたいと考えています。



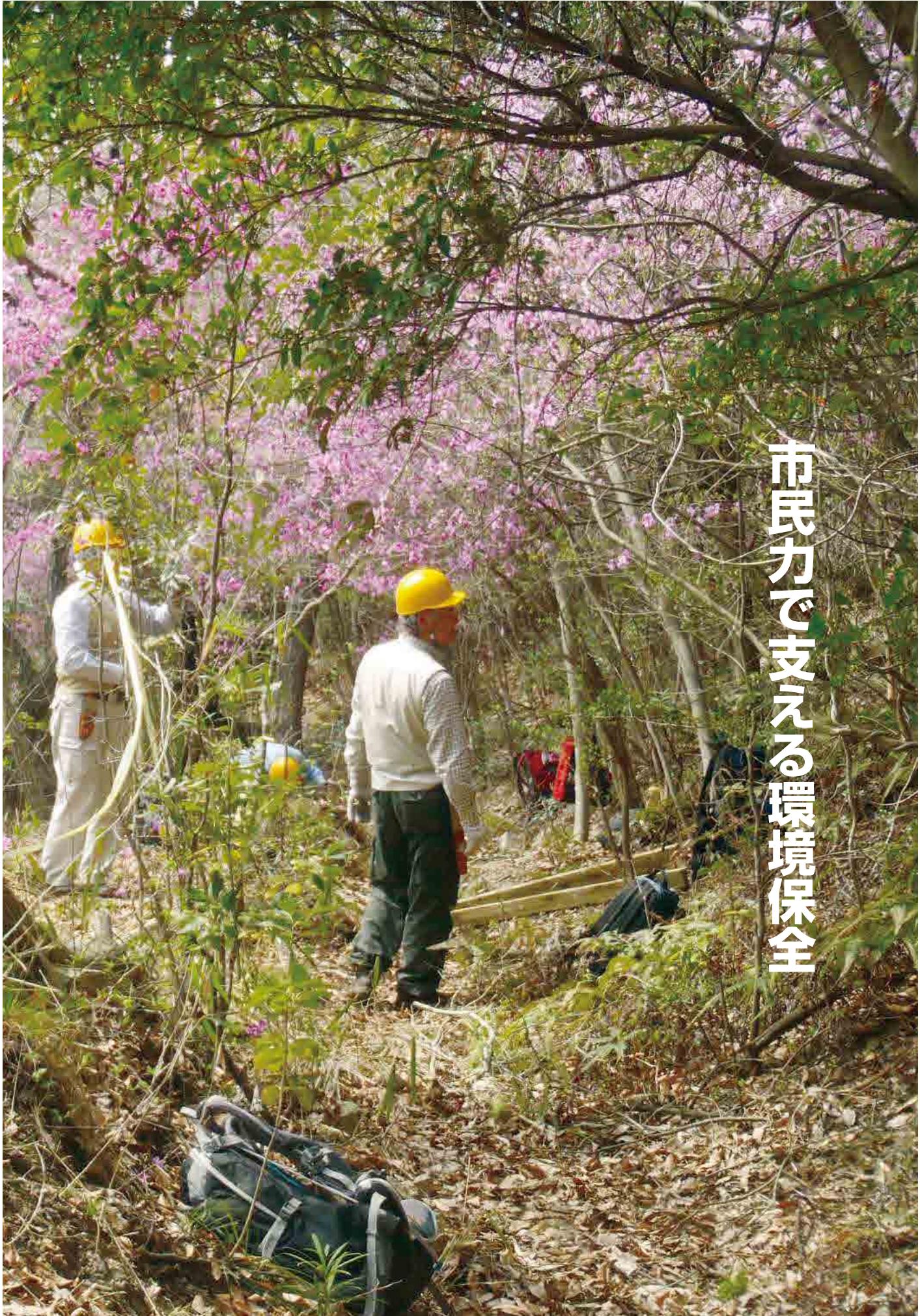
コミュニティデザインワークショップ



小林『いのちの木』で支えあう方々



地域活動の仕掛け方講座



市民力で支える環境保全

里山の手入れ

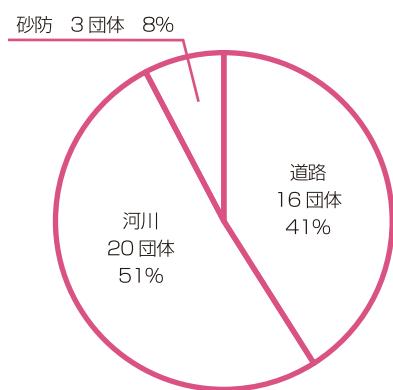
# 協 働 の 場 づ く り

## - ひょうごアドプト推進事業 -

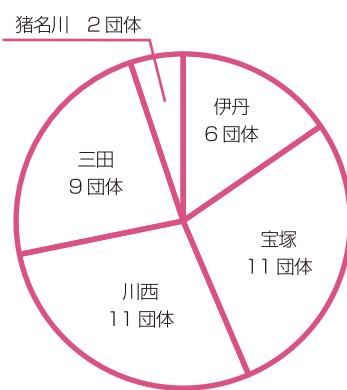
### 阪神北地域アドプト活動参加人口割合 0.19%

兵庫県内におけるアドプト活動参加者の人口割合は3.5%。阪神北地域では人口に対して0.19%。郡部では地域コミュニティの活動の一部としてアドプト事業に取り組んでいますが、都市部ではコミュニティの取り組みよりも環境グループの活動として取り組んでいる割合が高くなっています。一緒に汗を流し地域を美しくする『アドプト活動』は、コミュニティのつながりと地元を愛するこころを育むものです。したがって、この活動の意味の啓発とより広い広報を行い、美しい地域づくりと豊かなコミュニティづくりに取り組む団体を増やす必要があります。

※アドプト活動：行政と市民が協力しあって進める清掃美化活動



団体数と活動区域割合



阪神北地域市町別活動団体数



### 持続可能な地域と組織のために

**1430** 名  
(昨年比 139 %)  
アドプト  
活動者数

本年度2月、昨年に引き続き第2回『アドプトをもっと良くする会議』を開催しました。活動団体が同じ活動をする団体とのネットワークを拡げ、協働することが目的です。参加団体・参加者数が共に第1回を上回り、活発で前向きな意見が多く出ました。会議のしめくくりは「アドプト活動は地域の重要な環境保全活動であり、自分たちの活動は10点満点中10点だ」と誇らしげに言い切れるこの活動をいつまでも継続していくように、ネットワークづくりと意見交換の場として来年度もこの会議を開くことを団体から要望されて終了しました。このように、環境保全と地域づくりのために活動するアドプト団体を拡大していただきたいと、本年度は団体情報誌として『みんなのアドプト』第1、2号を発行しました。アドプト活動の広報と活動団体間のネットワークを拡げることを目的として発行いたしましたが、そのこと以上に、団体が活動する区域住民の方々への広報と啓発活動にもなっているという効果を上げています。



光が丘里山クラブ『宙』活動区域



刈払機講習会



今年も綺麗に咲きました



コミュニティビジネスで解決しよう

### 起業を断念しそうになった理由 1位は『資金調達』

中小企業庁の中小企業白書(平成 26 年版)によると、起業家が起業を断念しそうになった際に直面した課題の 1 位が『資金調達』2 位が『経営知識一般の取得』となり、更に回答者の 4 割強は『相談相手がない』と答えています。どの課題も生きがいしごとサポートセンターでの講座や個別相談で解決できるものであることから、今後もニーズを探りながら講座を開催していくたいと思います。また、若者の起業では『経営知識一般の取得』が 1 位で、よいアイデアのスマートビジネスを思いついで経営知識が乏しく苦労していると読み取れます。引き続き、今年度も会計・事務講座を充実させていきたいと思います。

### シニア層では、就業より起業が伸びる

**23** 回  
講座  
開催回数

**24** 団体  
起業団体数

**249** 名  
就職成立者数

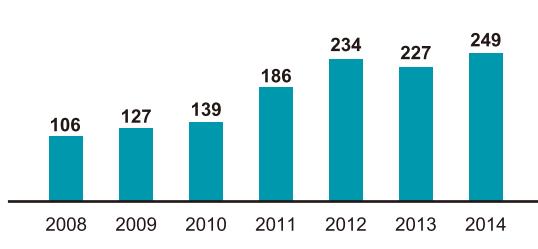
平成 26 年度の職業紹介事業では、349 人の新規求職者に登録いただき、249 名が就業しました。シニア層は伸び悩んだものの、全体数は右肩上がりで伸びています。また、CB ゼミナール、実務講習会を 23 回開催し、133 名に参加いただき、起業団体は 24 団体を実現しました。そのうち 12 団体がシニアの起業です。これまで蓄積した経験や資金を生かした社会参加、そして就職の困難さが理由となって、起業を希望するシニアは年々増加していますが、地域性の高いコミュニティビジネスを展開する場合、地域との関係の希薄さが事業展開のハードルとなっています。これには地域との窓口や、既に起業している事業者とのネットワークを促す組織が必要で、今年度はそういった『架け橋』となるよう地域情報の調査や見える化に力を入れたいと考えています。

積み上げてきた起業実績



起業件数 (単位: 団体)

就職成立者数は倍増



就職成立者数 (単位: 人)



少人数制会計講座  
『会計サロン』



60 歳からのスゴシカタを考える講座  
『ココカラ大学 シニア学部』



起業、就労、地域参加、ボランティア  
様々な課題の個別相談

# 地域は資源に溢れている



但馬地域 朝来市 無農薬無肥料農業を実践している田んぼ

# 人と組織づくり

## - 生きがいしごとサポートセンター全県活性化事業 -

### 但馬地域の 83%は山林

東は京都府、西は鳥取県に面している但馬地域は、2,133 km<sup>2</sup>と兵庫県の 4 分の 1 を占め東京都とほぼ同じ広さですが、その 83% は山林です。高齢化率も 33.5% となり、県平均 26.3% を大きく上回っています（平成 27 年 2 月現在）。しかし、それは多くの資源に恵まれ、経験、時間のあるシニアが多くいるとも言い替えられます。本事業では、課題をチャンスに置き換えてコミュニティビジネスを行う団体を積極的に支援し、地域資源を有効活用できるようサポートしてきました。生きがいしごとサポートセンター未設置地域であることから、CB 起業・就業相談、支援の体制強化、情報提供、セミナーなど全般的な事業展開をし、多様なレベルの事業計画に相談、対応できるよう進めていきます。



但馬地域 2,133 km<sup>2</sup> の 83% は山林



### 他地域から学ぶ CB 観察ツアー開催

**22** 回  
但馬地域への  
出張支援回数

**7** 団体  
但馬地域での  
起業団体数

平成 26 年度は、出張相談に加えて地域の先進事例 CB 観察バスツアーを企画しました。私たちの担当である但馬地域にも兵庫県各所から見学に来ていただきました。朝来市の若年層による地域おこし協力隊の取り組み、養父市明延区の NPO 法人一円電車あけのべの廃線を活用した地域活性化、養父市大屋町の NPO 法人おおやアート村の地域資源を活用した木彫のアート活動を PR させていただきました。但馬地域は日本海に面し自然豊かで力二、但馬牛などの特産物もあり、城崎温泉、神鍋スキー場、竹田城などの観光地も多くあります。今、これらの地域資源を有効活用するアイデアを考え、それをビジネスにまでつなげたいと思う人が増えています。ビジネスチャンスは都心部よりも地域にあるのではないかでしょうか。



C B 観察ツアー朝来市  
地域おこし協力隊が運営するカフェ  
『百笑茶屋 喜古里』



C B 観察ツアー養父市大屋町明延区  
NPO 法人一円電車あけのべ  
が走らせる『くろがね号』



C B 観察ツアー養父市大屋町  
NPO 法人おおやアート村  
が運営する『BIG LABO』

# シニア・女性の再チャレンジ



女性のための就労支援セミナーでのビジネスマナー講座

### 女性の労働力人口 20万人増加

日本の労働力人口は前年に比べ 10 万人の増加。男女別では、男性が 3,763 万人で 10 万人の減少、女性は 2,824 万人で 20 万人の増加となっています（平成 26 年平均、総務省統計局・労働力調査）。若者を含め、女性や高齢者などが労働市場に積極的に参加できる環境をつくることが、労働力人口の減少を緩和できると推測されます。60 歳以上の男女を対象とした内閣府の調査では、『65 歳以上まで働きたい』と回答した人が 9 割近くいると言いますが、アベノミクスによる景気回復で求人件数は増加傾向にあるものの、年齢の壁は厚く、シニアの再就職は簡単ではありません。一方で女性の就業状況は、結婚・出産・育児期にあたる 30 歳代で減少する、いわゆる『M 字カーブ』を描いています。ところが歐米では、既に逆 U 字カーブを形成しており、働き方の柔軟性が高いことや、子育て環境が充実していることなどが示されています。そんなシニアと女性の効果的な就労や社会参加のため、『シニアの働き方セミナー』『女性のための就労支援セミナー』『起業セミナー』を開催しました。

※労働力人口：15 歳以上人口のうち、就業者と完全失業者を合わせた人口

前年に比べて  
20万人増加

『65 歳以上まで働きたい』  
と約 9 割が回答

**2804 万人**  **2824 万人**  
(2013) (2014)

女性の労働力人口



60 歳以上の男女を対象とした内閣府の調査

### 起業セミナーが大盛況！

**80** 回  
セミナー  
開催回数

**120** 名  
受講者総数

**25** 名  
就労、起業  
決定者数

『起業セミナー』は、『雇われない働き方』として人気があり、定員をオーバーする申し込みがありました。事業アイデアの発見から、プランディング、ビジネスプランの作成、助成金・融資金などの情報提供、そして最後は先輩起業家の体験談を聞くなど、毎回の出席率も高く盛り上がったセミナーでした。ただ、起業は実現までに時間がかかるので、実績数字としては 5 件に留まっています。資金面が一番大きな課題となっていますが、まずは『プチ起業』『ゆる起業』からのスタートをお勧めです。『シニアの働き方セミナー』の受講者の多くは、生涯現役で働きたい人たちで、自己分析、キャリアの棚卸しからスタートしました。応募書類など、現代流の方式を知ることもでき、とても参考になったとの感想が多くありました。70 歳以上の方の就職も 2 件決定しました。『女性のための就労支援セミナー』では、マイクアップ手法・ストレス対策など女性特有のメニューを用意し、多彩な講師陣のもと再就職に向けて学んでいただきました。本年度はセミナー開始が 7 月で、最終も 3 月となりましたので、就労・起業とも相談は現在も継続中です。決定者は今後も続々・・・期待できます。



女性のための就労支援セミナーでの  
面接対策講座

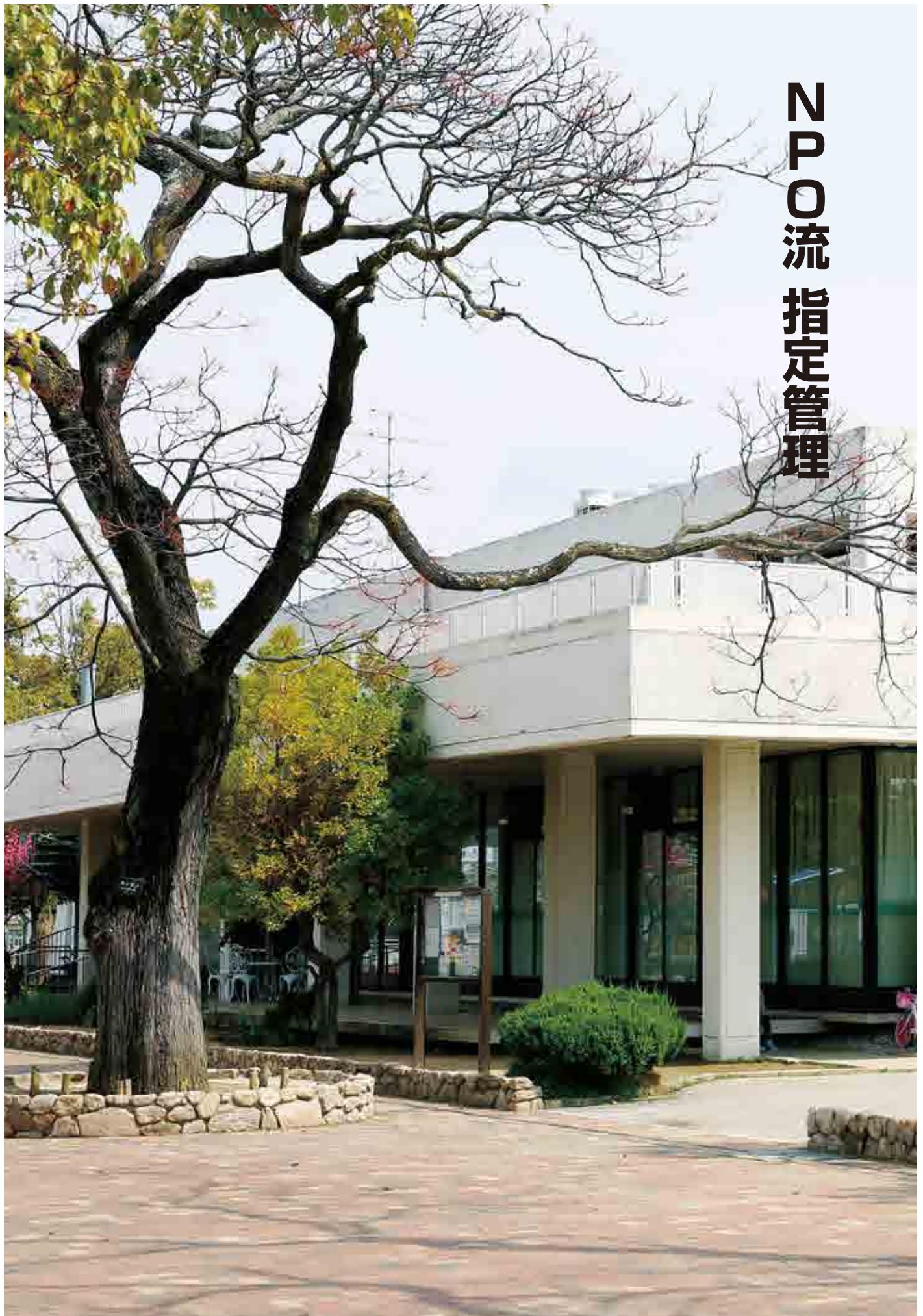


シニアのための働き方セミナーでの  
ビジネスマナー講座



シニアのための働き方セミナーでの  
ワークショップ

NPO流 指定管理



宝塚市立勤労市民センター

### NPOが指定管理をしている施設は4%のみ (平成24年総務省)

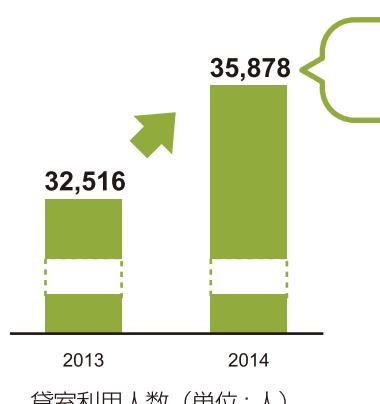
平成15年の地方自治法の改正により、地方公共団体が設置した公の施設に、民間企業などによる運営、管理を可能にする指定管理者制度が導入されました。しかし、社会教育施設である公民館、図書館、美術館などは導入率が低く、また、導入施設の中でもNPOが指定管理をしている施設は4%に留まっています。民間企業のノウハウを活かせば運営、管理の範囲はまだ広げられます。指定管理者の新しい考え方で施設の利用率、人数、収入を増やせる成功事例の1つとなるよう今年度も取り組んでいきます。

### 企画はシンプルに、利用者ニーズに合わせて

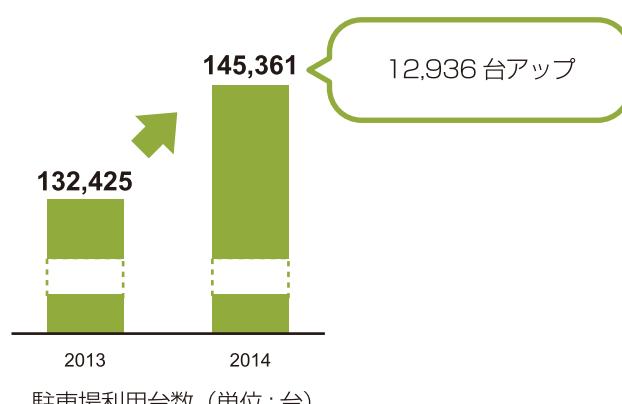
**93**名  
自主事業  
参加人数

**236**名  
パソコン講座  
参加人数

平成26年度よりスタートした本事業では、駐車場の24時間化、子ども向け自主事業、初心者向けパソコン講座など前指定管理者の運営方法に捉われず、利用者のニーズを改めて考えて企画し直しました。その結果、利用者、貸室稼働率、利用料収入などすべてが大幅にアップし、多くの利用者から満足の声をいただきました。多くの企画を実行できたのはボランティアさんの活躍が大きく、職員の手の届かない草むしりや、屋上の掃除、花壇の整備、本棚の整理など縁の下の力には感謝しています。このボランティアさんの参画こそがNPO流の指定管理のポイントで、特に『場』のある本事業では、これからもボランティアさんの活躍が期待できると考えています。平成27~28年度の指定管理も受託できており、合計3年間でできるだけ多くの市民活動の拠点、手助けができるようにしたいと思います。また、地域若者サポートステーション事業登録者のOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)場所としても活用しています。実際に数ヶ月間有給で労働することは、講座とは違った実のある体験となるので本年度も引き続き実施していきます。



貸室利用人数 (単位:人)



駐車場利用台数 (単位:台)



防災体験プログラム  
『危ない！みんなでカエルさんを救い出せ』



Let's 子どものためのざぶとん体操  
『ざぶとん忍者でござる』



ボランティアさんによる  
花壇の整備、自動散水機の設置

# はたらく! からはじまる第一歩



宝塚市立中央図書館での職場体験実習

# 若者就労支援

## - 宝塚市若者就労支援事業 -

### 若年無業者は 79 万人 (平成 26 年版 内閣府子ども・若者白書)

内閣府の調査によると、無業状態になったきっかけは仕事や就職に関するものが多く、個人によって様々な問題を抱えているのが現状です。1 人でも多くの若者が困難を乗り越え、就労し、社会へと貢献していくようサポートが必要です。宝塚 NPO センターでは、平成 20 年から、何らかの事情により自ら就職活動を行うことが困難な若者を支援する、若者就労支援事業を宝塚市より受託しました。本事業は、若者の働くイメージを育み、就労意欲を高め、一人ひとりにあった多様で適切な進路を発見し、継続就労が可能となるようきめ細やかな就労支援を行うことを目的としています。基礎力を身につけるためのセミナーや、トレーニング事業としての生活訓練、最後には職場体験実習を実施し、就労に向けて進めていきます。

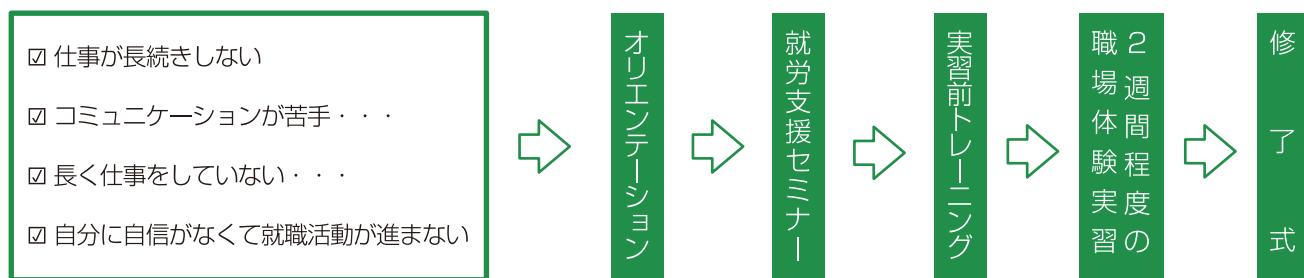
### 受講生の約 8 割が就職決定

**23** 回  
セミナー  
開催回数

**206** 名  
受講者総数

**7** 名  
就労  
決定者数

本事業を宝塚市から受託して 6 年目となりました。平成 26 年度は、『自己分析』『仕事理解』『就職活動』という 3 つのステップに分けて、毎週 1 回セミナーを実施、生活訓練では 10 日間の日程を取り組みました。はじめは不安と緊張でいっぱいの受講生も、継続参加していくうちに、笑顔で会話する様子が見られ、少しずつ自分の意見を言えるようになりました。また、就労に対する意識も変わっていくなど様々な変化が見られました。職場体験実習では、受け入れ実習先を 1 人につき 2 カ所選択し、それぞれ 5 日間の体験をしました。本年度は就労経験のない受講生が多く、初めての仕事に不安や戸惑いもありましたが、効率よく仕事をこなす工夫をしたり、与えられた仕事に積極的に取り組むなど、よい経験となったようです。1 月の修了式では 9 名の受講生が成長した姿を見せてくれました。彼らは社会に向け、新たな一步を踏み出しました。それぞれが就職活動を行い、進路決定につながるよう、私たちも引き続きサポートしていきたいと思います。



調理実習でコミュニケーション力 UP



自己分析で自分と向き合う



多くの学びを得たビジネスマナー講座

就職活動に勝つ！



# 若者就労支援

## - 伊丹市若年者就労サポート事業 -

### 平成 27 年 2 月の有効求人倍率 1.15 倍

平成 27 年 2 月の有効求人倍率は 1.15 倍(兵庫県は 0.94 倍)で、平成 4 年 3 月(1.19 倍)以来約 23 年ぶりの高い水準となっています(厚生労働省・一般職業紹介状況)。緩やかな景気回復を背景に人手不足感が強まる一方で、矛盾するようですが、就職難で苦しんでいる人たちが多いのも事実です。特に、これまでの景気低迷期に労働市場に足場をしっかりと築くことができなかつた若者たちは、未だ就活で悩んでいます。そんな就職を目指す若者のために、求職活動に向けての心構え、進め方、自分にあった仕事の見つけ方など就職に向けた基礎的知識を学ぶための『いたみ就勝塾』を 2 回にわたり開催いたしました。また、職場体験実習も実施し、応募活動を行うとともに、就職面接会にも参加し具体的な就職に結びつけるよう取り組みました。

### 自分にあった仕事を見つける

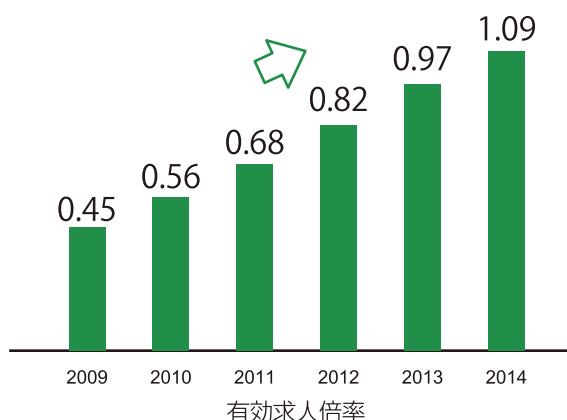
**28**回  
セミナー  
開催回数

**36**名  
受講者総数

**12**名  
就労  
決定者数

本事業は平成 26 年度に初めて伊丹市から受託したものです。前期・後期に分けて 2 回の連続講座に取り組みました。1 回の講座は 7 日間 14 講座で、自己分析から模擬面接、仕事探しまでの 5 日間と PC 講座を 2 日間実施しました。一番苦手な面接対策では、入室から退室まで本番さながらの模擬面接で、受講生はかなり緊張していましたが、人事経験者の講師から面接官の視点と本音を聞かせてもらい、とても参考になった模様です。仕事をする上で必須となるパソコンについても、2 日間ではありますが、基礎的スキルをしっかりと身につけていただきました。前期・後期とも職場体験希望者は少なかったのですが、体験者がそのままアルバイトとして採用された例もあり、就労につながる有効な手段であることは確かです。合同就職面接会では、残念ながら内定には至りませんでした。しかし、最終的に本事業全体では、12 名が就職を決定することができました。未だ就活中の人もいますので、引き続きサポートしていきます。

2009 年より、有効求人倍率は  
上がり続けています



グループディスカッション



パソコン教室



マナー講習会



「働きたい」を応援！

# 若者就労支援

## - 宝塚地域若者サポートステーション事業 -

### 若年層の完全失業率 5.1% (平成 26 年 統計局・労働力調査)

平成 26 年の若年層（15～34 歳）の完全失業率は 5.1% となり、このところ改善傾向が続いているが、年齢別で比較すると最も高い失業率となっています。また、若年無業者数も改善しているものの、潜在的失業者を含めると 200 万人超いるとも言われています。彼らの多くは、「働きたいけれどどうすればいいのかわからない…」と働くことに不安や悩みを抱え、誰に相談したらいいかわからず、ひとりで抱え込んでしまう傾向があります。『宝塚地域若者サポートステーション』では、そんな働くことに悩みを持つ 15～39 歳の若者に対し、キャリアコンサルタントなどによる専門的な相談やセミナー、職場体験など、就労に向けた支援を行っています。また、働きはじめた後も、様々な悩みを相談できる場所は必要です。私たちは『働く』だけではなく『働き続ける』ためのサポートにも力を注いでいきます。

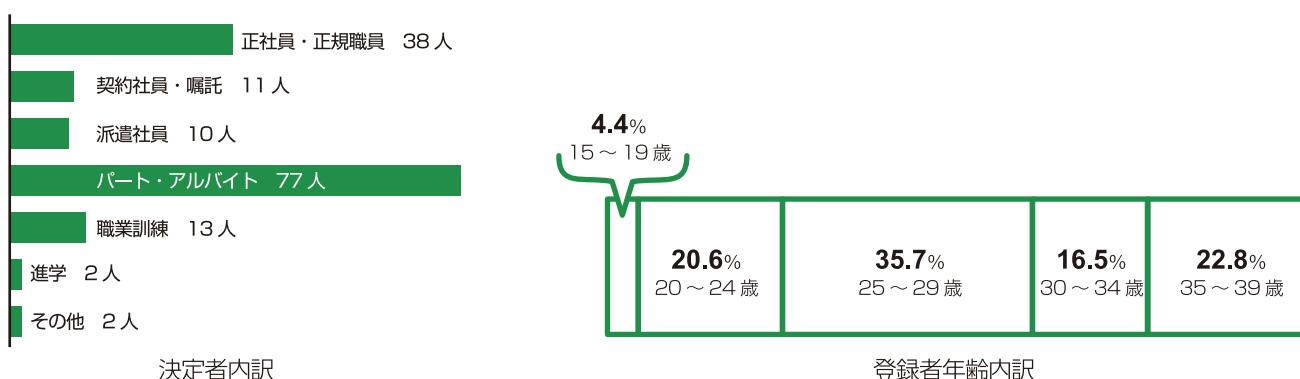
### 「働きたい」から「働く」へ

**171** 回  
セミナー  
開催回数

**316** 名  
新規登録者数

**152** 名  
進路決定者数

『宝塚地域若者サポートステーション』も開所してから丸 2 年が経過しましたが、この間、多くの若者が社会へ巣立ってきました。平成 26 年度は、来所のべ人数 2,160 人、相談件数は 1,858 件、進路決定者数は目標 130 人にに対し 152 人となり、昨年度に引き続き目標を上回る結果となりました。本年度は若者のニーズに応えながらセミナーレートを増やし、内容も就職活動に必要なスキルを中心に、気分転換のための体を動かすヨガ講座や菜園活動、保護者向けの座談会形式の講座などメニューを充実させました。宝塚市立勤労市民センターでのカフェボランティアや、地域のイベントにスタッフとして参加するという体験も実施し、就労に向けての自信となったはずです。若者が面談や様々な体験を通して少しづつ成長し、新しい道へと進んでいくことは、本人はもちろん私たちにとっても大きな喜びです。残念ながら本年度は進路決定できなかった若者、就職したが、仕事上で悩んでいる若者、そしてまだ見ぬ支援を必要としている若者を今後も応援していきます。



ホンキの就職セミナー



合同就職面接会



ヨガ講座

意識して語り継ぐ  
あの揺れと想い

鎮魂のための追悼キャンドルイベント

# 市民ネットワークづくり

## - 阪神・淡路大震災啓発事業 -

### 阪神・淡路大震災から 20 年

内閣府の防災白書によると、日本の国土の面積は全世界の 0.28%ですが、全世界で起こったマグニチュード 6 以上の地震の 20.5%が日本で発生しています。日本は世界でも災害の割合が高い国です。しかし、阪神・淡路大震災発生から 20 年が過ぎ、震災を知らない世代が増加する一方、体験した世代は震災を語る機会が少ない状況にあります。いつ発生するか予測がつかない災害への一番の対策は『意識の風化を防ぐこと』。そのために、『シンポジウム』『鎮魂のための追悼キャンドルイベント』を実施。また、『震災 20 年シンポジウム冊子 明日へ伝えたい』を発行しました。



#### ・シンポジウム

日 時：1月 9 日（金）13:30～16:00

場 所：宝塚ソリオホール

参加者数：280 人

基調講演：『震災 20 年の検証、災害に強いまちづくりを目指して』

講 師：室崎 益輝 氏

(神戸大学名誉教授・ひょうご震災記念 21 世紀研究機構副理事長)



#### ・鎮魂のための追悼キャンドルイベント

日 時：1月 17 日（土）5:30～6:00

場 所：宝塚市立未広中央公園

参加者数：300 人

#### ・冊子刊行 『震災 20 年シンポジウム冊子 明日へ伝えたい』

発行元：阪神北県民局、宝塚市

編 集：宝塚 NPO センター

内 容：6 名の市民を震災の体験を語る『伝え人』としてインタビュー取材。その他『市民が語る阪神・淡路大震災 あの日 宝塚で』『あの日の景色を振り返る』など、これからの防災を考える冊子としました。



# その他

## この一年を振り返って

### 第5次宝塚市総合計画策定業務委託

『総合計画』とは、これからの中長期をもつと暮らしやすい、住み続けたい、訪れてみたいと思えるまちにするための行政の最上位計画です。本年度は市長への素案提出に至るまで、事務局を市と協働で行いました。7月から始まった検討市民会議では、計画に沿って市民と市役所が力を合わせて取り組めるよう、公募市民委員や地縁団体代表、知識経験者、市職員によって構成される会議で、のべ25回の議論が行われました。4部会に分かれての熱の込もった会議は、夜遅くまで続くことも多くありました。

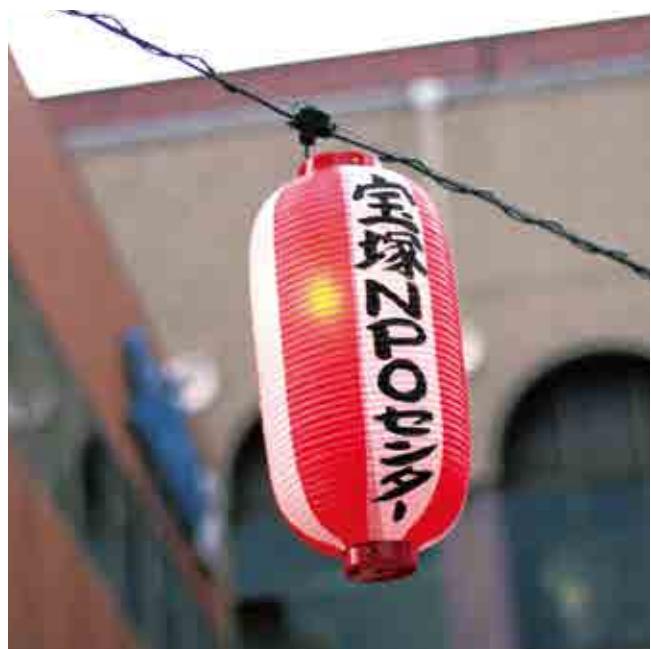
平成30年度からスタートする後期基本計画の完成に向けて、今年度も審議会事務局を協働していきます。



### 地域ネットワーク（自治会・夏祭り）

所属している自治会『ソリオ宝塚自治会』の事務局を8年間担っています。テーマ型で動くNPOは、地縁団体と一緒に地域づくりはできないと言われることが多いのですが、自治会役員として会計から総務まで会長と二人三脚で歩み、一緒に地域をつくる仲間として住民や事業者の方々に認めていただいていることは、私たちの誇りです。

毎年8月には地域の夏祭りの事務局を担います。この夏祭りは地域の方々と事業者、婦人会、子ども会と一緒に作り上げます。『協働』という言葉などを意識せず、お互いに『あうんの呼吸』で動き実施しています。祭りの後に皆で飲むビールの味は格別です。





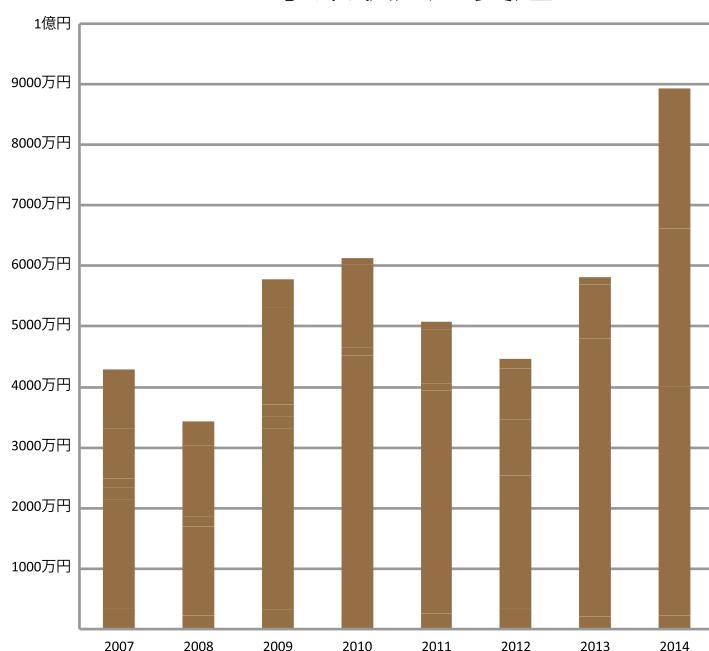
## 宝塚 1万人のラインダンス

11月1日『宝塚1万人の「ラインダンス』が開催され、4395人という記録でギネス世界記録を大幅に更新しました。ギネスワールドジャパンの判定員をサポートするボランティアを募集し、ラインダンス当日にギネス認定する作業をスマーズに行つお手伝いを宝塚NPOセンターが行いました。宝塚市内の事業者の方や自治会関係者の方々にボランティア募集をお手伝いいただいた結果、定員120名のところ160名近くの方が集まってくれました。このイベントに協力させていただいたことにより新しいつながりができました、また、皆さんと一緒にギネス記録達成できたことを大変うれしく思っています。

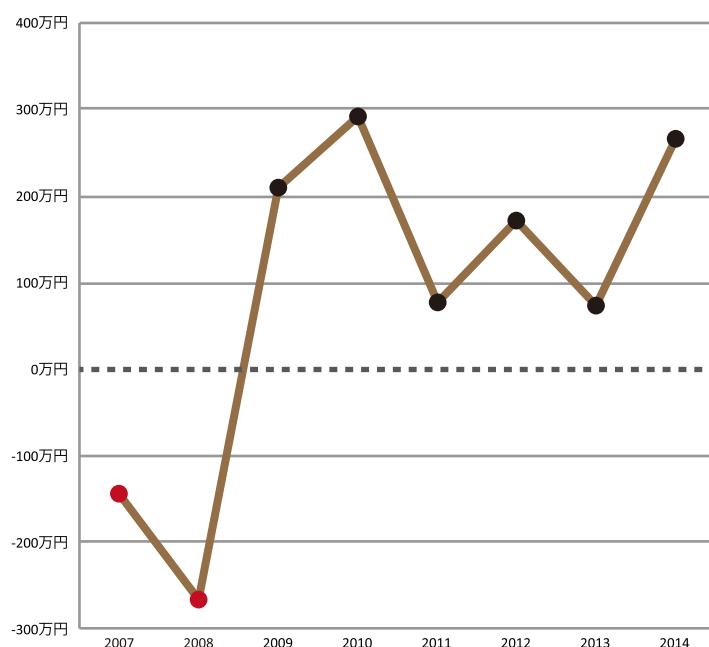


吉野 茂子  
(総務・経理担当)

## 事業収入の変遷



## 経常収支差額の変遷



委託事業の多い中間支援NPOの事業収入は、その時々の社会の潮流に左右されます。その中で、ミッションの実現と安定した運営を持続するためには、スタッフの努力はさることながら、組織基盤の確立が求められます。そのためにも利益は大切であると考えています。ここ数年のスタッフの努力と利益の確保は、次のステージへの原動力になるはずです。



中山 光子  
(事務局長)

少しずつ経営が  
安定してきました

平成26年度特定非営利活動に係る事業会計

貸借対照表 簡易版

平成27年3月31日現在

(単位：円)

| 借 方          |           | 決算額        |            | 貸 方        |            | 決算額        |  |
|--------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|--|
| 資産<br>の<br>部 | I. 流動資産   |            |            | I. 流動負債    |            | 504,729    |  |
|              | 現金・預金     | 850,228    |            | 預り金        |            | 144,000    |  |
|              | 現金        | 1,129,582  |            | 会費前受金      |            | 9,241,647  |  |
|              | 郵便貯金      |            |            | 未払金        |            | 82,000     |  |
|              | 普通預金      | 4,870,066  |            | 未払法人税等     |            | 2,349,500  |  |
|              | (現金・貯金合計) |            |            | 未払消費税等     |            |            |  |
|              | その他の資産    |            |            |            |            |            |  |
|              | 未収入金      | 23,439,564 |            |            |            |            |  |
|              | 立替金       | 76,651     |            |            |            |            |  |
|              | 前払費用      | 664,757    |            |            |            |            |  |
| (小計)         |           |            | 24,180,972 |            |            |            |  |
| (流動資産合計)     |           |            | 31,030,848 |            |            |            |  |
| 資産<br>の<br>部 | II. 固定資産  |            |            | 負債合計       |            | 12,321,876 |  |
|              | 敷金        | 1,000,000  |            | 正味財産の部     |            |            |  |
|              | 電話加入権     | 76,440     |            | 前期繰越正味財産額  | 17,798,881 |            |  |
|              | III. 繰延資産 |            |            | 当期正味財産増加額  | 2,586,531  |            |  |
|              | 長期前払費用    | 600,000    |            | 正味財産合計     | 20,385,412 | 20,385,412 |  |
|              | 資産合計      |            | 32,707,288 |            |            |            |  |
|              |           |            |            | 負債及び正味財産合計 |            | 32,707,288 |  |
|              |           |            |            |            |            |            |  |
|              |           |            |            |            |            |            |  |
|              |           |            |            |            |            |            |  |

平成26年度特定非営利活動に係る事業会計

活動計算書 簡易版

平成26年4月1日～平成27年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目          | 当初予算       | 決算額        |
|--------------|------------|------------|
| I 経常収益       |            |            |
| 1. 受取会費      | 1,500,000  | 1,213,000  |
| 2. 受取寄付金     | 1,030,000  | 1,114,922  |
| 3. 受取助成金等    | 8,900,000  | 8,900,000  |
| 4. 事業収益      | 18,944,000 | 21,642,729 |
| 5. 受託収益      | 47,240,920 | 54,960,236 |
| 6. その他収益     | 752,000    | 1,402,186  |
| 経常収益計        | 78,366,920 | 89,233,073 |
| II 経常費用      |            |            |
| 1. 事業費       |            |            |
| (1) 人件費      | 43,412,529 | 47,022,261 |
| (2) その他経費    | 22,528,847 | 26,910,620 |
| 事業費計         | 65,941,376 | 73,932,881 |
| 2. 管理費       |            |            |
| (1) 人件費      | 526,000    | 440,435    |
| (2) その他経費    | 11,227,370 | 12,191,226 |
| 管理費計         | 11,753,370 | 12,631,661 |
| 経常費用計        | 77,694,746 | 86,564,542 |
| 税引前当期正味財産増減額 | 672,174    | 2,668,531  |
| 未払法人税等       | 82,000     | 82,000     |
| 当期正味財産増減額    | 590,174    | 2,586,531  |
| 前期繰越正味財産額    | 17,798,881 | 17,798,881 |
| 当期正味財産合計     | 18,389,055 | 20,385,412 |

## 誰でもが輝ける場が、地域力を育むサードプレイス

一人ひとりが輝ける場づくりと、そこで育まれる市民性の成長を地域力向上につなげます。生活をする上で欠かせない『第1の居場所』自宅、『第2の居場所』会社や学校。そのどちらでもない『第3の居場所』サードプレイスが求められる時代となっています。サードプレイスとは、空間だけではなく、人が家庭や職場での役割から解放され、一個人としてくつろげるコミュニティ『誰もが輝ける場』です。私たちは、市民活動や地域活動が地域の人を巻き込む力をつけ、地域で居心地のよい場『サードプレイス』になることが、市民一人ひとりが生き生きと生活することにつながると考えています。そして、その結果が地域活動の裾野の広がりや内容の充実になり、新しい住民参加のかたちになると考えています。

平成27年度は17事業を6分野に分けて取り組みます。新規事業『生活困窮者支援事業』では『はたらく応援センター』を設置し、相談員3名を配置して、宝塚市やその他支援機関とネットワークを組んで課題解決を図ります。

平成26年5月からスタートした『寄付で運営する100色珈琲事業』は、第2ステージに移ります。当初、2~3名のボランティアさんの参加で始まったこの事業に、今は14名のシニアボランティアが集まり、珈琲の提供をしています。平成27年からは宝塚市立スポーツセンターに第2号屋台を新設することで、多くのシニアの活動の場（サードプレイス）にしたいと考えています。

今年度も20、30代の職員が増え、新しい発想による新規事業の芽吹きを感じさせる1年になります。16名のボランティアさんと一緒に事業を進める『誰もが輝ける場』からの発信をご期待ください。



三原 伸也

(地域若者サポートステーション事業担当)



塩谷 惣太郎

(地域若者サポートステーション事業担当)



木佐一 豊人

(宝塚市立勤労市民センター指定管理事業担当)



高瀬 梓

(地域若者サポートステーション事業担当)



上村 敏弘

(生きがいしごとセンター事業担当)

**平成27年度特定非営利活動に係る事業会計**

**活動予算書**

平成27年4月1日～平成28年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目          | 当初予算        |
|--------------|-------------|
| I 経常収益       |             |
| 1. 受取会費      | 1,500,000   |
| 2. 受取寄付金     | 1,000,000   |
| 3. 受取助成金等    | 7,900,000   |
| 4. 事業収益      | 21,808,000  |
| 5. 受託収益      | 68,593,416  |
| 6. その他収益     | 1,002,000   |
| 経常収益計        | 101,803,416 |
| II 経常費用      |             |
| 1. 事業費       |             |
| (1) 人件費      | 58,681,895  |
| (2) その他経費    | 33,118,084  |
| 事業費計         | 91,799,979  |
| 2. 管理費       |             |
| (1) 人件費      | 1,155,349   |
| (2) その他経費    | 8,260,000   |
| 管理費計         | 9,415,349   |
| 経常費用計        | 101,215,328 |
| 税引前当期正味財産増減額 | 588,088     |
| 未払法人税等       | 82,000      |
| 当期正味財産増減額    | 506,088     |
| 前期繰越正味財産額    | 20,385,412  |
| 当期正味財産合計     | 20,891,500  |

# 平成 27 年度特定非営利活動に係る事業計画

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

## ● 協働の場づくり

市民同士の協働、行政と市民の協働、中間支援と市民・行政の協働という 3 つのつながりの中から、地域のあちこちに対話を生み、お互いの理解を深めながら共に地域を考える参加型の社会をつくります。

|                                  | 事業内容  | 実施目標   |
|----------------------------------|---|--|
| 市民活動促進支援事業<br>(対象：宝塚市民)          | 特定非営利活動法人の法人化支援<br>特定非営利活動法人の運営支援<br>市民活動団体や CB 等起業経営支援<br>まちづくり協議会等自主財源確保支援<br>まちづくり協議会等の情報発信支援<br>交流会運営<br>啓発講座<br>地域参加相談 | 5 法人設立<br>200 回<br>20 団体<br>4 講座<br>30 回<br>15 講座<br>13 講座<br>随時 |
| ひょうごアドプト推進事業<br>(対象：阪神北県民局管内の市民) | アドプト団体活動支援  | 38 団体  |
| 総合計画策定業務<br>(対象：宝塚市民)            | 第 5 次総合計画後期計画策定事務局支援  | 通年   |

## ● 人と組織づくり

持続可能な組織運営を相談者と一緒に考える姿勢を大切に、コミュニティビジネスや NPO 活動を通じて、誰もが主役として参加できる社会をつくります。また、仕事というツールを用い、誰もが社会とつながることを応援します。

|  |   |  |
|--|---|--|
| 生きがいしごと<br>サポートセンター事業<br>(対象：兵庫県民)             | NPO・CB の設立支援<br>雇用創出<br>情報収集発信<br>起業相談業務<br>シニア起業<br>シニア雇用創出<br>コミュニティビジネスゼミナール<br>実務講習講座<br>シニア向け講座<br>CB 啓発フォーラム<br>専門家派遣 | 24 法人設立<br>280 名<br>随時<br>80 名<br>10 团体<br>40 名<br>5 回<br>13 回<br>5 回<br>1 回<br>3 团体 |
| 生きがいしごと<br>サポートセンター<br>全県活性化事業<br>(対象：但馬地域の市民) | 出張相談業務<br>コミュニティビジネスゼミナール<br>先進起業見学会  | 24 回<br>4 回<br>1 回   |

## ● 地域づくり

参加型の施設管理運営を通じて、新しいコミュニティをかたちづくっていきます。本を通した市民同士の交流の場も設置します。

| 事業内容                                |                                       | 実施目標           |
|-------------------------------------|---------------------------------------|----------------|
| 宝塚市立勤労市民センター<br>指定管理事業<br>(対象:宝塚市民) | 宝塚市立勤労市民センター管理<br>宝塚市立末広駐車場管理<br>自主事業 | 通年<br>通年<br>通年 |
|                                     |                                       |                |

## ● 仕事を通じた社会参加づくり

働くことで社会に参加することを支援し、就職成立者を増やします。また、事業者はもとより多くの市民に現在の雇用状況を伝えることで、地域の理解を深めます。

|  |   |                                 |
|--|---|---------------------------------|
| 宝塚市<br>地域人づくり事業<br>(対象:宝塚市民)                       | シニアのための就労セミナー<br>女性のための就労セミナー<br>宝塚起業セミナー | 16 講座<br>16 講座<br>16 講座         |
| 宝塚市職場体験付<br>若者就労支援事業<br>(対象:就労に課題を抱える<br>宝塚市内の若者)  | 就労支援セミナー<br>生活訓練プログラム<br>職場体験実習           | 13 講座<br>5 講座<br>約2週間／1人        |
| 伊丹市若年者<br>就労サポート事業<br>(対象:就労に課題を抱える<br>伊丹市内の若者)    | 就労支援セミナー<br>IT (PC) 講座<br>職場体験実習          | 24 講座<br>8 講座<br>約3~5日／1人       |
| 地域若者<br>サポートステーション事業<br>(対象:地域を問わず<br>就労に課題を抱える若者) | キャリア相談<br>心理相談<br>キャリアセミナー                | 新規登録者<br>360 名<br>就職者数<br>110 名 |
| 生活困窮者支援事業<br>(対象:宝塚市民)                             | 就労支援                                      | 通年                              |
| 若年者合同就職面接会<br>(対象:阪神北県民局管内の若年者)                    | 合同就職面接会の実施                                | 1回                              |

## ● 参加の場づくり

年齢や立場に捉われず誰もが参加できる場づくりや仕組みづくりを、100色珈琲カフェを通じて実現します。

|                        |                |    |
|------------------------|----------------|----|
| 100 色珈琲事業<br>(対象:一般市民) | カフェを通じた参加の場づくり | 通年 |
|------------------------|----------------|----|

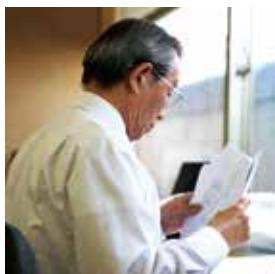
## ● 市民ネットワークづくり

中間支援 NPO として、それぞれのセクターを結びつけるネットワークの推進に力を入れ、安全で安心な社会をつくっていきます。

|                              |                         |          |
|------------------------------|-------------------------|----------|
| 情報提供、講演<br>(対象:一般市民、活動団体)    |                         | 通年       |
| 東日本大震災支援<br>(対象:関西への避難者)     | 就労支援<br>生活相談            | 通年<br>通年 |
| ネットワーク事業<br>(対象:一般市民、市民活動団体) | 自治会事務局<br>ソリオふれあい夏祭り事務局 | 通年<br>通年 |

## ボランティア

平成 26 年度のボランティア時間は 3,592 時間と昨年より若干減少しています。しかし、このボランティア時間は常勤職員の 1 年の労働時間に換算すると約 2 人分となり、無償役務を換算すると 360 万円の寄付に相当します。ボランティアの皆さんとの活動は欠かすことができず、重要な活動の一部を占めていただいている。今後も多くのボランティアの皆さんと共に人が行き交う市民活動の交差点として活気あふれるセンターを目指したいと考えます。



一緒に働けて本当に  
うれしいし、楽しいです

山口 耕平

(宝塚市市民活動促進支援事業担当)



私も、見習って  
社会貢献をします

横山 宗助

(生きがいしごとサポートセンター事業担当)

## 寄付

平成 27 年 3 月末 17 年間の寄付金総額は 28,509,692 円となりました。

平成 26 年度の寄付金は 27 件 (23 個人・5 団体・企業) で 1,114,922 円の寄付を頂きました。

|           |            |           |       |       |            |       |        |       |       |       |       |      |       |        |           |      |       |       |       |        |       |        |        |
|-----------|------------|-----------|-------|-------|------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--------|-----------|------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| (匿名希望 3名) | バイカモ農会     | 小林 浩昭     | 山沢 桃子 | 遠座 俊明 | 大日ノ出ブランニング | 相田 光一 | 中原 さくら | 三戸 俊徳 | 相田 英俊 | 小宮 弘信 | 大西 和昭 | 森本 樹 | 富脇 瑞穂 | 橘田 てつ子 | 山田 忠生     | 中山 修 | 崎本 明宏 | 山口 耕平 | 鶴丸 恒二 | 菅原 美代子 | 山口 一史 | 正木 みづ子 | 掛水 すみ子 |
|           | ハートライフ福祉協会 | 宝塚の杜芸術俱楽部 |       |       |            |       |        |       |       |       |       |      |       |        | 慶應大学宮垣研究室 |      |       |       |       |        |       |        |        |
|           |            |           |       |       |            |       |        |       |       |       |       |      |       |        | 同         |      |       |       |       |        |       |        |        |

(以上 順不同、敬称略)



いつも温かいご支援を  
ありがとうございます

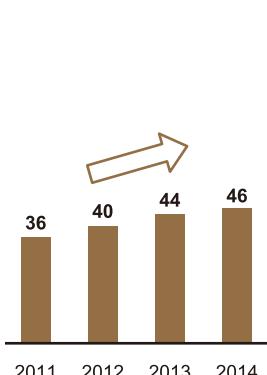
橘田 てつ子

(地域若者サポートステーション事業担当)

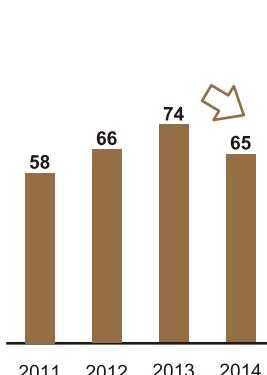
## 会員

平成 27 年 3 月末の会員数は 223 名 ( 法人会員:4 個人正会員:46 団体正会員:65 賛助会員:108 ) です。

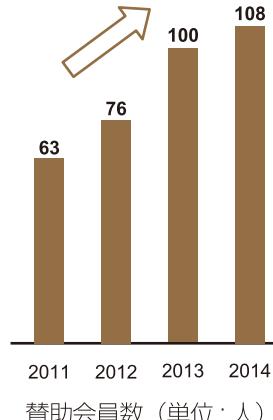
今後も会員数の増加に努めます。



個人正会員数 (単位:人)



団体正会員数 (単位:団体)



賛助会員数 (単位:人)

# 名簿

## 一 法人会員:4

回生会 宝塚病院  
ソリオ宝塚都市開発株式会社  
生活協同組合コープこうべ  
株式会社兵庫福祉保険サービス

## 一 個人正会員:46

|        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 相田 こと子 | 相田 英俊  | 市村 浩一郎 |
| 江守 典子  | 遠座 俊明  | 加藤 美耶子 |
| 龜川 甲   | 橋田 てつ子 | 木下 道則  |
| 倉橋 滋樹  | 小林 浩昭  | 清瀬 勲   |
| 佐藤 健二  | 塙谷 惣太郎 | 塙谷 勲太郎 |
| 菅原 美代子 | 清水 幹子  | 清水 幹子  |
| 高原 宏子  | 高松 泰子  | 高松 泰子  |
| 中政芳    | 鶴丸 悅二  | 鶴丸 悅二  |
| 田恭子    | 中川 知子  | 田恭子    |
| 名取 千里  | 中山 光子  | 名取 千里  |
| 野尻 俊明  | 鶴島 達夫  | 鶴島 達夫  |
| 林宏昭    | 福間 則博  | 福間 則博  |
| 原啓     | 藤崎 麻里  | 藤崎 麻里  |
| 牧里 每治  | 三木 さくら | 三木 さくら |
| 和智 敏雄  | 三原 伸也  | 三原 伸也  |
| 小林 和子  | 山本 敬子  | 山口 耕平  |
| 吉野 茂子  | 吉野 茂子  | 森田 義   |
| 和智 敏雄  | 和智 敏雄  | 和智 敏雄  |

(匿名希望 7名)

## 一 団体正会員:65

|                     |                     |                    |
|---------------------|---------------------|--------------------|
| 宝塚高次脳機能障害者共生の会      | 丹波里山くじら             | つどじ場さくじゅうやん        |
| 友愛こぶし               | アミーゴ                | といじと               |
| アミーゴ                | いきいきシニアゼミナール        | 日本会計税務交流機構         |
| 伊丹市土に親しむ会           | 伊丹市土に親しむ会           | 日本災害救援ボランティアネットワーク |
| エスリー・ド・宝塚自治会        | エスリー・ド・宝塚自治会        | 日本心理教育ラボ           |
| おでかけ支援隊             | おでかけ支援隊             | ネバール・ヨードを支える会      |
| オフィス・ナウ             | オフィス・ナウ             | ハートライフ福祉協会         |
| 科学と市民社会の「ミユニケーション   | 科学と市民社会の「ミユニケーション   | Happy Happy        |
| 川西再発見               | 川西再発見               | ハッピーライフ福祉会         |
| 川西市手をつなぐ育成会         | 川西市手をつなぐ育成会         | 日高共同作業所            |
| 関西アロマセラピスト・フォーラム    | 関西アロマセラピスト・フォーラム    | ハートライフ福祉協会         |
| キッピーフレンズ            | キッピーフレンズ            | Happy Happy        |
| 希望の家                | 希望の家                | ハッピーライフ福祉会         |
| きらり                 | きらり                 | 日高共同作業所            |
| Creative Debate for | Creative Debate for | ハートライフ福祉協会         |
| GRASS ROOTS         | GRASS ROOTS         | Happy Happy        |
| 高齢者問題を考え行動する会       | 高齢者問題を考え行動する会       | ハートライフ福祉協会         |
| 国際交流団体未来            | 国際交流団体未来            | 日高共同作業所            |
| 里山未来ラビット            | 里山未来ラビット            | ハートライフ福祉協会         |
| C・キッズ・ネットワーク        | C・キッズ・ネットワーク        | 日高共同作業所            |
| 市民活動フォーラムみのお        | 市民活動フォーラムみのお        | ハートライフ福祉協会         |
| 市民事務局かわにし           | 市民事務局かわにし           | 日高共同作業所            |
| 若年認知症支援連絡会 ひよこの会    | 若年認知症支援連絡会 ひよこの会    | ハートライフ福祉協会         |
| 水道施設整備技術協議会         | 水道施設整備技術協議会         | 日高共同作業所            |
| スマイルウェイ             | スマイルウェイ             | ハートライフ福祉協会         |
| そら                  | そら                  | 日高共同作業所            |
| ソリオ宝塚自治会            | ソリオ宝塚自治会            | ハートライフ福祉協会         |
| 宝塚エルバイレFC           | 宝塚エルバイレFC           | 日高共同作業所            |
| 宝塚市花のみち自治会          | 宝塚市花のみち自治会          | ハートライフ福祉協会         |
| 宝塚青年会議所             | 宝塚青年会議所             | 日高共同作業所            |
| 宝塚NISITANI          | 宝塚NISITANI          | ハートライフ福祉協会         |
| 宅老所 光明の家            | 宅老所 光明の家            | 日高共同作業所            |
| めふのお家               | めふのお家               | ハートライフ福祉協会         |
| よつば法律事務所            | よつば法律事務所            | 日高共同作業所            |
| れいんぼう               | れいんぼう               | ハートライフ福祉協会         |
| 宅老所 ろまん             | 宅老所 ろまん             | 日高共同作業所            |
| アイ・アイ宝塚             | アイ・アイ宝塚             | ハートライフ福祉協会         |
| よつ葉会                | よつ葉会                | 日高共同作業所            |
| 裸足の楽園               | 裸足の楽園               | ハートライフ福祉協会         |
| 情報センター—SIS—大阪事務局    | 情報センター—SIS—大阪事務局    | 日高共同作業所            |
| ともしび                | ともしび                | ハートライフ福祉協会         |
| グループチャレンジ高齢者を支援する会  | グループチャレンジ高齢者を支援する会  | 日高共同作業所            |

## 名簿

— 贊助会員 : 108 —

村上 克己 阿部 一郎 天羽 望 飯室 裕文  
石堂 恵教 石橋 さんえ 石渡 裕子 石原 朱実  
飯室 裕文 石原 朱実 石渡 裕子 石橋 さんえ  
天羽 望 石堂 恵教 石橋 さんえ 石渡 裕子  
阿部 一郎 飯室 裕文 石原 朱実 石原 朱実  
久保 明子 工藤 圭子 久世 直子 村上 克己  
栗岡 和美 小西 孝幸 車田 清美 村上 克己  
栗岡 和美 小西 孝幸 車田 清美 村上 克己  
國下 透 小副川 久代 黒木 雅子 小林 則昭  
久保 明子 工藤 圭子 久世 直子 村上 克己  
三戸 俊徳 松浦 雅子 三橋 あき子 村上 克己  
宮野 達子 松浦 雅子 三橋 あき子 村上 克己

栗岡 和美 小西 孝幸 車田 清美 村上 克己  
栗岡 和美 小西 孝幸 車田 清美 村上 克己  
國下 透 小副川 久代 黒木 雅子 小林 則昭  
久保 明子 工藤 圭子 久世 直子 村上 克己  
三戸 俊徳 松浦 雅子 三橋 あき子 村上 克己  
宮野 達子 松浦 雅子 三橋 あき子 村上 克己

望月 利恵子 粉井 芳子 森本 樹 宮脇 瑞穂  
望月 利恵子 粉井 芳子 森本 樹 宮脇 瑞穂  
森脇 やすと 森田 かつ子 三戸 俊徳 松浦 雅子  
森脇 やすと 森田 かつ子 三戸 俊徳 松浦 雅子  
谷川原 宇子 宮脇 瑞穂 三戸 俊徳 松浦 雅子  
谷川原 宇子 宮脇 瑞穂 三戸 俊徳 松浦 雅子  
森本 樹 宮脇 瑞穂 三戸 俊徳 松浦 雅子  
森本 樹 宮脇 瑞穂 三戸 俊徳 松浦 雅子

阪口 春彦 小林 則昭 佐伯 義信 佐藤 真由美  
阪口 春彦 小林 則昭 佐伯 義信 佐藤 真由美  
新福 泰雅 大瀬 富子 佐藤 真由美 佐伯 義信  
新福 泰雅 大瀬 富子 佐藤 真由美 佐伯 義信  
直田 春夫 多胡 葉子 佐藤 真由美 佐伯 義信  
直田 春夫 多胡 葉子 佐藤 真由美 佐伯 義信  
立田 英雄 高瀬 梓 山口 尚美 保元 温  
立田 英雄 高瀬 梓 山口 尚美 保元 温  
中川 幸子 中川 幸子 山添 令子 山添 令子  
中川 幸子 山添 令子 山添 令子 山添 令子  
鈴島 平二郎 永井 弘行 山本 進 安田 和弘  
鈴島 平二郎 永井 弘行 山本 進 安田 和弘  
田村 依子 中山 寶元 安田 和弘 宮野 達子  
田村 依子 中山 寶元 安田 和弘 宮野 達子  
中山 寶元 安田 和弘 宮野 達子 宮野 達子  
中山 寶元 安田 和弘 宮野 達子 宮野 達子

森田 隆作 宮脇 瑞穂 宮野 達子 松浦 雅子  
森田 隆作 宮脇 瑞穂 宮野 達子 松浦 雅子  
森田 隆作 宮脇 瑞穂 宮野 達子 松浦 雅子  
森田 隆作 宮脇 瑞穂 宮野 達子 松浦 雅子

(以上 順不同、敬称略)

ありがとうございました。

## 参画

- ・兵庫県長期ビジョン審議会
- ・宝塚市行政評価委員会
- ・宝塚市労働問題審議会
- ・宝塚市景観審議会
- ・宝塚市協働のまちづくり促進委員会
- ・宝塚市環境審議会
- ・宝塚市廃棄物減量等推進審議会
- ・伊丹市参画協働推進委員会
- ・川西市子ども・若者支援地域協議会
- ・宝塚市子ども・若者支援地域協議会
- ・社会福祉法人兵庫県共同募金会宝塚市共同募金委員会
- ・「cope」ともしげボランティア振興財団評議員
- ・copeとともにしげボランティア振興財団助成部会運営委員



## 役員

|      |        |  |
|------|--------|--|
| 理事長  | 牧里 每治  | 関西学院大学 人間福祉学部 社会起業学科教授                 |
| 副理事長 | 江守 典子  | 宝塚市社会教育委員会議の議長                         |
| 副理事長 | 遠座 俊明  | 大阪ガス株式会社                               |
| 理事   | 名取 千里  | 株式会社ティーオーエー 常務取締役                      |
| 理事   | 鶴丸 恒二  | 高齢者問題を考え行動する会 代表                       |
| 理事   | 野尻 俊明  | 保護司                                    |
| 理事   | 西岡 輝子  | 宝塚市身体障害者福祉団体連合会 宝塚リハビリ友の会              |
| 理事   | 高松 泰子  | 特定非営利活動法人 めふのお家 理事<br>若年認知症支援連絡会 ひよこの会 |
| 理事   | 中山 光子  | 認定NPO法人 宝塚NPOセンター 事務局長                 |
| 理事   | 橋田 てつ子 | 認定NPO法人 宝塚NPOセンター                      |
| 監事   | 福間 則博  | 弁護士                                    |
| 監事   | 森田 義   | 公認会計士・税理士                              |

## 職員

石渡 裕子  
 上村 敏弘  
 馬越 康弘  
 太田 恵子  
 大西 和昭  
 笠原 準一  
 木佐一 豊人  
 橋田 てつ子  
 工藤 圭子  
 塩谷 惣太郎  
 高瀬 梓  
 高橋 真由美  
 竹川 節子  
 出澤 淳一  
 土居 晓叶  
 中山 光子  
 緋本 順子  
 三井 優子  
 三原 伸也  
 山口 耕平  
 横山 宗助  
 吉野 茂子  
 若林 雄一

(平成27年3月末現在 50音順)



認定NPO法人 宝塚NPOセンター

宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F

TEL 0797-85-7766

FAX 0797-85-7799

MAIL [zukanpo@hnpo.net](mailto:zukanpo@hnpo.net)

URL <http://hnpo.net>